

南魚沼市は、「南魚沼市新ごみ処理施設整備・運営事業」（以下「本事業」という。）において「新ごみ処理施設事業者選定委員会」（以下「委員会」という。）を設置し、その評価を踏まえ、本事業を実施する民間事業者を選定しました。

この度、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成 11 年法律第 117 号）第 11 条第 1 項の規定に準じ、客観的な評価結果として、委員会の審査講評を公表します。

令和 8 年 7 月 10 日

南魚沼市長 林 茂男



---

南 魚 沼 市 新 ご み 処 理 施 設  
整 備 ・ 運 営 事 業  
審 査 講 評

---

令和 8 年 7 月 1 0 日

新ごみ処理施設事業者選定委員会



南魚沼市新ごみ処理施設整備・運営事業 審査講評

目 次

---

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 第1章 事業の概要 .....       | 1  |
| 第2章 審査方法等 .....       | 2  |
| 第3章 最優秀提案者の選定結果 ..... | 8  |
| 第4章 総評.....           | 13 |

---



## 第 1 章 事業の概要

### 1 事業名称

南魚沼市新ごみ処理施設整備・運営事業

### 2 公共施設等の概要

#### (1) 名称

南魚沼市新ごみ処理施設

#### (2) 建設予定地

ア 所在地 新潟県南魚沼市島新田地内

イ 建設用地 約 9,300 m<sup>2</sup>

#### (3) 施設の概要

新設する施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設）

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 処理方式  | ストーカ式               |
| 処理能力  | 76t/日（38t/24h×2 炉）  |
| 処理対象物 | もえるごみ、可燃性粗大ごみ、可燃性残渣 |

### 3 事業方式

南魚沼市新ごみ処理施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）は、南魚沼市（以下「市」という。）の所有となる南魚沼市新ごみ処理施設（以下「本施設」という。）の設計・建設及び運営に係る業務を事業者が一括して行う DBO（Design：設計、Build：施工、Operate：運営）方式により実施する。

落札者は、単独又は共同企業体を設立し、本施設の設計・建設業務（以下「設計・建設業務」という。）を行う。

落札者の構成員は、特別目的会社（SPC）を設立し、20 年の運営期間にわたって、本施設の運営に係る業務（以下「運営業務」という。）を行う。

### 4 事業期間

事業期間等は、以下のとおりである。

- ・事業期間：事業契約締結日（本契約としての成立日をいう。以下同じ。）から令和 33 年 3 月 31 日まで
- ・設計・建設期間：事業契約締結日から令和 13 年 3 月 31 日まで
- ・運営期間：令和 13 年 4 月 1 日から令和 33 年 3 月 31 日まで（20 年間）

### 5 事業範囲

事業者が実施する主な業務は、次のとおりとする。

ア 設計・建設業務

イ 運営業務

## 第2章 審査方法等

### 1 入札の方法

入札の方法は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の10の2に規定する総合評価一般競争入札方式により実施した。

### 2 落札者決定までの経過

落札者決定の経過は、以下のとおりである。

表1 落札者決定までの経過

| 時 期                             | 内 容                                                                                                       |
|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和7年 10月 31日（金）                 | 入札公告<br>入札説明書等（入札説明書、要求水準書、落札者決定基準、様式集、基本協定書（案）、基本契約書（案）、建設工事請負契約書（案）、運営業務委託契約書（案）及びその他これらに付属又は関連する書類）の公表 |
| 令和7年 11月 12日（水）<br>～ 11月 13日（木） | 現地見学会                                                                                                     |
| 令和7年 11月 19日（水）                 | 入札説明書等に関する質問（第1回）受付                                                                                       |
| 令和7年 12月 5日（金）                  | 入札説明書等に関する質問回答（第1回）の公表                                                                                    |
| 令和7年 12月 15日（月）                 | 参加表明書及び参加資格審査申請書類の受付                                                                                      |
| 令和7年 12月 22日（月）                 | 参加資格審査結果の通知                                                                                               |
| 令和8年 1月 23日（金）                  | 対面的対話の実施                                                                                                  |
| 令和8年 2月 6日（金）                   | 対面的対話結果の公表                                                                                                |
| 令和8年 2月 13日（金）                  | 入札説明書等に関する質問（第2回）受付                                                                                       |
| 令和8年 2月 27日（金）                  | 入札説明書等に関する質問回答（第2回）の公表                                                                                    |
| 令和8年 4月 3日（金）                   | 入札提案書類（入札書及び技術提案書）の受付                                                                                     |
| 令和8年 6月 23日（火）                  | 提案書に関するヒアリング、評価、開札                                                                                        |
| 令和8年 6月 24日（水）                  | 落札者の決定                                                                                                    |
| 令和8年 6月 26日（金）                  | 落札者の公表                                                                                                    |

### 3 委員会の設置

公平性及び透明性を確保し、専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、学識経験者を含む 8 名の委員により構成される新ごみ処理施設事業者選定委員会（以下「委員会」という。）において評価を行った。

[委員会の構成]

| 役 職 名 | 氏 名    | 所 属               | 備 考                     |
|-------|--------|-------------------|-------------------------|
| 委 員 長 | 岡村 聡   | 南魚沼市 副市長          | ～令和 6 年 12 月 21 日       |
|       | 南雲 貢   | 南魚沼市 副市長          | 令和 7 年 4 月 1 日～         |
| 副委員長  | 片桐 克巳  | 南魚沼市 総務部長         |                         |
| 委 員   | 姫野 修司  | 国立大学法人 長岡技術科学大学   |                         |
| 委 員   | 田中 一幸  | 一般財団法人 日本環境衛生センター |                         |
| 委 員   | 八鍬 浩   | 公益社団法人 全国都市清掃会議   |                         |
| 委 員   | 長澤 輝   | 湯沢町 副町長           | ～令和 7 年 3 月 31 日        |
|       | 田村 雅和  | 湯沢町 副町長           | 令和 7 年 4 月 1 日～         |
| 委 員   | 平賀 慎一郎 | 南魚沼市 市民共生部長       |                         |
| 委 員   | 南雲 一春  | 湯沢町 企画産業観光部長      | ～令和 7 年 3 月 31 日        |
|       | 富沢 雅文  | 湯沢町 企画産業観光部長      | 令和 7 年 4 月 1 日～9 月 30 日 |
|       | 田村 雅彦  | 湯沢町 企画産業観光部長      | 令和 7 年 10 月 1 日～        |

### 4 委員会の開催経過

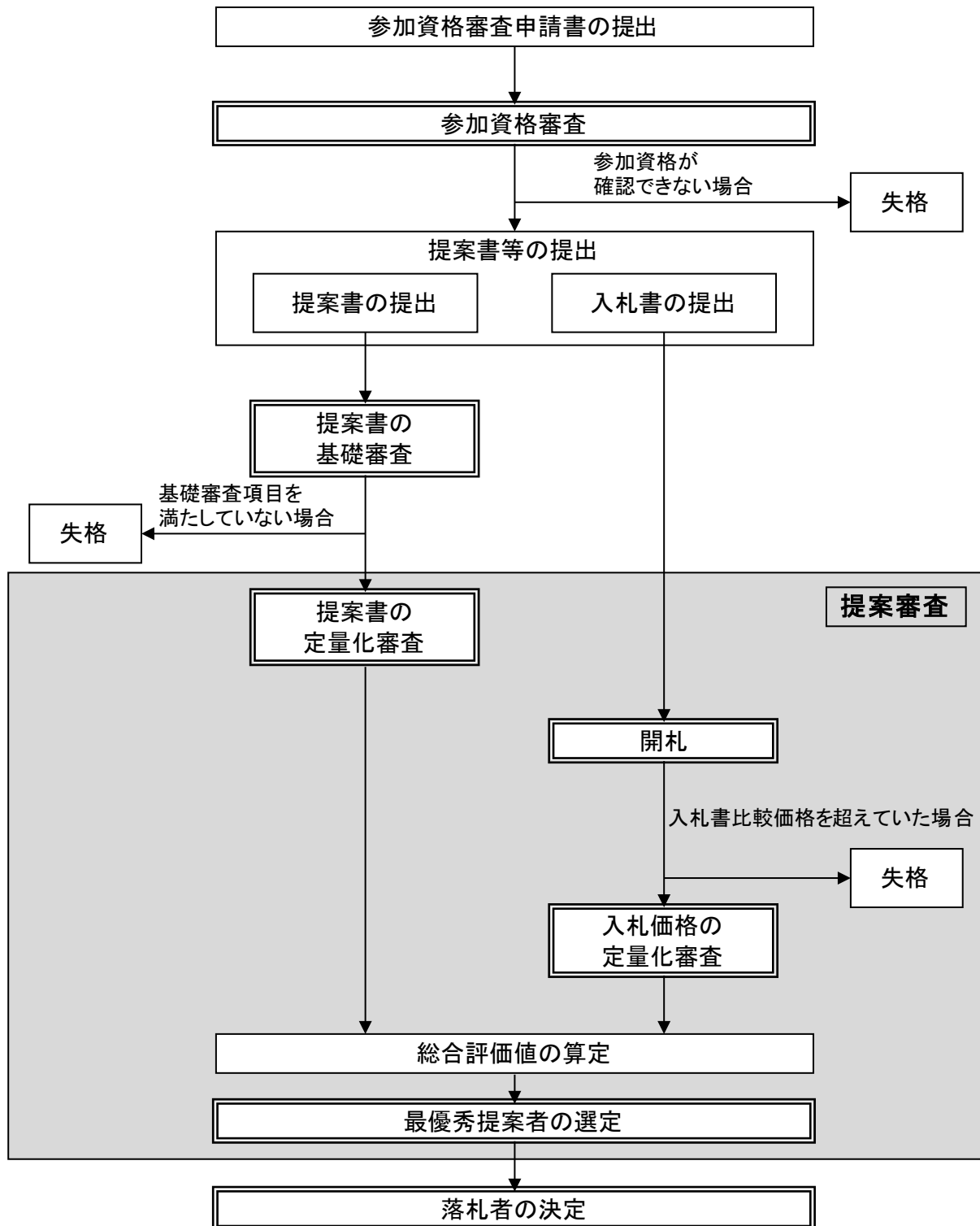
本事業における委員会の開催経過は、以下のとおりである。

表 2 委員会の開催経過

| 日 付                 | 内 容                                                              |
|---------------------|------------------------------------------------------------------|
| 令和 6 年 10 月 17 日（木） | 第 1 回委員会<br>（新ごみ処理施設整備の状況と今後の事業・課題等、委員会スケジュールに関する意見聴取）           |
| 令和 7 年 2 月 7 日（金）   | 第 2 回委員会<br>（施設規模、委員会スケジュールに関する意見聴取）                             |
| 令和 7 年 7 月 3 日（木）   | 第 3 回委員会<br>（実施方針（案）、要求水準書（案）、落札者決定基準（案）、委員会スケジュールに関する意見聴取）      |
| 令和 7 年 8 月 26 日（火）  | 第 4 回委員会<br>（特定事業の選定（案）、入札説明書（案）、要求水準書（案）、落札者決定基準（案）に関する意見聴取）    |
| 令和 7 年 10 月 10 日（金） | 第 5 回委員会<br>（入札説明書（案）、要求水準書（案）、落札者決定基準（案）、様式集（案）、契約書（案）に関する意見聴取） |
| 令和 8 年 5 月 19 日（火）  | 第 6 回委員会<br>（基礎審査結果の報告、提案書内容の確認）                                 |
| 令和 8 年 6 月 23 日（火）  | 第 7 回委員会<br>（ヒアリング、評価、最優秀提案者の選定、審査講評（案）に関する審議）                   |

## 5 落札者決定の手順

落札者決定の手順は、以下のとおりである。



※委員会の事務は図中網掛け部分(開札は除く)

図 1 落札者決定の手順

## 6 選定の手順

### (1) 参加資格審査

市は、提出された参加資格審査申請書により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

### (2) 提案書の基礎審査

#### ア 提案書等の確認

提出された提案書等がすべて揃っていることを確認する。

#### イ 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

(ア) 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。

(イ) 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について遵守していること。

(ウ) 提案書全体について、同一事項に対する 2 通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

### (3) 提案書の定量化審査

#### ア 提案書における審査項目及び配点

審査項目及び配点は以下のとおりである。

表 3 審査項目及び配点

| 審査項目                                 |    | NO. | 配点  |
|--------------------------------------|----|-----|-----|
| 1 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項             |    |     | 51点 |
| (1) 安全・安心かつ安定的な処理が可能な施設              |    |     | 26点 |
| ① 施設の安定稼働                            | 1  | 5点  |     |
| ② 施設の安全性                             | 2  | 5点  |     |
| ③ 受付・搬入出管理                           | 3  | 4点  |     |
| ④ 配置動線計画                             | 4  | 4点  |     |
| ⑤ 全体工事計画                             | 5  | 4点  |     |
| ⑥ 組織体制及び人員配置                         | 6  | 4点  |     |
| (2) 周辺環境との調和に留意した親しまれる施設             |    |     | 2点  |
| ① 景観及びデザイン                           | 7  | 2点  |     |
| (3) 災害に強い施設                          |    |     | 5点  |
| ① 施設の強靱化                             | 8  | 3点  |     |
| ② 災害発生時の廃棄物処理                        | 9  | 2点  |     |
| (4) 公害防止に配慮した施設                      |    |     | 3点  |
| ① 公害防止基準を満足するための取組み                  | 10 | 3点  |     |
| (5) 省力化・効率化に努め、経済的な施設                |    |     | 7点  |
| ① 基本性能の維持及び長寿命化                      | 11 | 5点  |     |
| ② 焼却残渣量の最小化                          | 12 | 2点  |     |
| (6) 省エネルギー・エネルギー回収効率が高く、低炭素社会に貢献する施設 |    |     | 8点  |
| ① 省エネルギーへの配慮                         | 13 | 2点  |     |
| ② 発電電力の最大化                           | 14 | 3点  |     |
| ③ 環境学習計画及び見学者対応                      | 15 | 3点  |     |
| 2 事業計画に関する事項                         |    |     | 9点  |
| (1) 経営計画及び事業収支計画                     | 16 | 2点  |     |
| (2) リスク管理及び対処方法                      | 17 | 3点  |     |
| (3) 地域貢献                             | 18 | 4点  |     |
| 3 入札価格に関する事項                         |    |     | 40点 |
| (1) 入札価格                             | 19 | 40点 |     |

イ 提案書の定量化審査に関する得点化方法

(ア) 提案を求めている審査項目においては、次の表 4 のとおり、5 段階評価による得点化方法により得点を付与する。各審査項目の評価点については、委員会の各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数点第 3 位を四捨五入した値とする。

表 4 審査基準及び得点化方法

| 評価 | 審 査 基 準                 | 得点化方法   |
|----|-------------------------|---------|
| A  | 当該評価項目において特に優れている       | 配点×1.0  |
| B  | AとCの中間程度                | 配点×0.75 |
| C  | 当該評価項目において優れている         | 配点×0.5  |
| D  | CとEの中間程度                | 配点×0.25 |
| E  | 当該評価項目において優れているとは認められない | 配点×0.0  |

(イ) 表 3 に示す審査項目における No. 14「発電電力の最大化」の項目については、次の算定式により得点を付与する。なお、得点は、小数第 3 位を四捨五入した値とする。

$$\left( \begin{array}{l} \text{「発電電力の最大化」} \\ \text{の審査項目の得点} \end{array} \right) = \text{配点} \times \frac{\text{当該余剰電力量 (20 年間)}}{\text{最も多い余剰電力量 (20 年間)}}$$

(4) 入札価格の定量化審査

ア 入札価格に関する得点化方法

入札価格について、次の算定式①により得点を付与する。なお、得点は、小数第 3 位を四捨五入した値とする。

算定式①【入札価格の定量化審査の得点算定式】

$$\left( \begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right) = 40 \text{ 点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}}$$

(5) 総合評価値の算定方法

「イ 提案書の定量化審査」、「ウ 入札価格の定量化審査」により算出した各入札参加者の得点から、次の算定式②により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

算定式②【総合評価値の算定式】

$$\left( \begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \\ \text{(満点:100点)} \end{array} \right) = \left( \begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{提案書の定量化審査の得点} \\ \text{(満点:60点)} \end{array} \right) + \left( \begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格の定量化審査の得点} \\ \text{(満点:40点)} \end{array} \right)$$

### 第3章 最優秀提案者の選定結果

#### 1 参加資格審査

令和7年10月31日に入札公告を行い、令和7年12月15日まで参加表明書及び参加資格確認申請書類を受け付けたところ、以下の2グループ（表内の順番は受付グループ名の五十音順）から申請があった。

市は、入札参加資格の確認審査を行い、令和7年12月22日までに全グループの代表企業に対し、入札参加資格を有することを書面にて通知した。

表5 参加表明書及び参加資格審査申請書等提出グループ

| 受付グループ名 | 八海山グループ                         | 巻機山グループ      |
|---------|---------------------------------|--------------|
| 企業グループ名 | カナデビアグループ                       | 荏原環境プラントグループ |
| 代表企業    | カナデビア株式会社                       | 荏原環境プラント株式会社 |
| 構成員     | カナデビア環境サービス株式会社<br>株式会社環境コミュニティ | —            |
| 協力企業    | 株式会社植木組                         | 若築建設株式会社     |

なお、委員会による評価にあたっては、公平性を期すため、提案書等すべての書類において各グループの企業名は伏せ、表5の受付グループ名で識別して評価を行った。

#### 2 提案書の基礎審査及び定量化審査

##### (1) 提案書等の確認

令和8年4月3日までに入札参加資格を有する2グループより入札提案書類が提出された。

市は、各入札参加者から提出された入札提案書類がすべて揃っていることを確認した。

##### (2) 基礎審査

市は、基礎審査項目に沿って基礎審査を行った。

入札提案書類を提出した2グループは、いずれも基礎審査項目を満たしていることが確認されたため、基礎審査に合格しているものと認められた。

##### (3) 提案書の定量化審査

委員会は令和8年6月23日に提案書の定量化審査を行った。

評価に際しては、提案書に関する入札参加者による説明（プレゼンテーション）及び委員による提案内容に対する質疑を実施し、定量化審査の審査項目について、適確な提案がなされているかの確認を行い、得点化を行った。

なお、評価は、市の要求する水準を満たしたうえで、より優れた提案に対して評価を行う加点方式である。

評価結果を表6、事業提案に関する事項の講評を表7に示す。

表 6 提案書の定量化審査結果

| 評価項目         |                                      |                     |     | 配点 | 八海山グループ | 巻機山グループ |
|--------------|--------------------------------------|---------------------|-----|----|---------|---------|
| 大項目          | 中項目                                  | 小項目                 | No. |    |         |         |
| 1            | 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項               |                     | －   | 51 | 35.60   | 34.26   |
|              | (1) 安全・安心かつ安定的な処理が可能な施設              | ① 施設の安定稼働           | 1   | 5  | 3.59    | 3.28    |
|              |                                      | ② 施設の安全性            | 2   | 5  | 4.06    | 3.59    |
|              |                                      | ③ 受付・搬入出管理          | 3   | 4  | 2.75    | 2.63    |
|              |                                      | ④ 配置動線計画            | 4   | 4  | 2.75    | 2.88    |
|              |                                      | ⑤ 全体工事計画            | 5   | 4  | 2.88    | 2.38    |
|              |                                      | ⑥ 組織体制及び人員配置        | 6   | 4  | 2.75    | 2.50    |
|              | (2) 周辺環境との調和に留意した親しまれる施設             | ① 景観及びデザイン          | 7   | 2  | 1.50    | 1.13    |
|              | (3) 災害に強い施設                          | ① 施設の強靱化            | 8   | 3  | 2.16    | 1.59    |
|              |                                      | ② 災害発生時の廃棄物処理       | 9   | 2  | 1.44    | 1.31    |
|              | (4) 公害防止に配慮した施設                      | ① 公害防止基準を満足するための取組み | 10  | 3  | 2.34    | 2.06    |
|              | (5) 省力化・効率化に努め、経済的な施設                | ① 基本性能の維持及び長寿命化     | 11  | 5  | 3.44    | 3.13    |
|              |                                      | ② 焼却残渣量の最小化         | 12  | 2  | 1.13    | 1.50    |
|              | (6) 省エネルギー・エネルギー回収効率が高く、低炭素社会に貢献する施設 | ① 省エネルギーへの配慮        | 13  | 2  | 1.00    | 1.50    |
|              |                                      | ② 発電電力の最大化          | 14  | 3  | 1.84    | 3.00    |
|              |                                      | ③ 環境学習計画及び見学者対応     | 15  | 3  | 1.97    | 1.78    |
| 2            | 事業計画に関する事項                           |                     | －   | 9  | 6.35    | 5.85    |
|              | (1) 経営計画及び事業収支計画                     |                     | 16  | 2  | 1.25    | 1.38    |
|              | (2) リスク管理及び対処方法                      |                     | 17  | 3  | 1.97    | 1.97    |
|              | (3) 地域貢献                             |                     | 18  | 4  | 3.13    | 2.50    |
| 提案書の定量化審査の得点 |                                      |                     | －   | 60 | 41.95   | 40.11   |

表 7 事業提案に関する事項の講評

| 大項目 | 中項目                      | 小項目          | 講評                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                 |
|-----|--------------------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     |                          |              | 八海山グループ                                                                                                                                                                 | 巻機山グループ                                                                                                                                                         |
| 1   | 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項   |              |                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                 |
|     | (1) 安全・安心かつ安定的な処理が可能な施設  | ① 施設の安定稼働    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な実績に基づく設備構成に加え、AI・IoT など先進技術の導入による安定稼働のための創意工夫を評価した。</li> <li>・ごみ量・ごみ質の変動への対応として、実績に基づく処理可能範囲の設定、操炉計画策定の取組を高く評価した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な実績に基づく設備構成に加え、AI・IoT など先進技術の導入による安定稼働のための創意工夫を評価した。</li> <li>・ごみ量・ごみ質の変動への対応として、処理可能範囲の設定、運転計画策定の取組を評価した。</li> </ul> |
|     |                          | ② 施設の安全性     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視装置等を駆使した来場者及び運転員の安全対策を評価した。</li> <li>・消火設備等による具体的なごみピット火災対策を評価した。</li> </ul>                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視装置等を駆使した運転員の安全対策を評価した。</li> <li>・消火設備等による具体的なごみピット火災対策を評価した。</li> </ul>                                               |
|     |                          | ③ 受付・搬入出管理   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく効率的な計量システムの提案を評価した。</li> <li>・計量機と連動したプラットフォーム内の安全確保のための取組を評価した。</li> </ul>                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい搬入管理のための創意工夫を評価した。</li> <li>・直接搬入車両の安全確保のための取組を評価した。</li> </ul>                                                   |
|     |                          | ④ 配置動線計画     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種車両に対する安全な動線計画を評価した。</li> <li>・冬季の積雪対策に係る創意工夫を評価した。</li> </ul>                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく安全な動線計画を評価した。</li> <li>・豊富な待車スペースによる車両集中時の混雑・渋滞対策を高く評価した。</li> </ul>                                              |
|     |                          | ⑤ 全体工事計画     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性を考慮した具体的で実効性の高い工事工程を高く評価した。</li> </ul>                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事工程遵守のための創意工夫を評価した。</li> </ul>                                                                                         |
|     |                          | ⑥ 組織体制及び人員配置 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な実績に基づく実効性の高い事業実施体制を評価した。</li> <li>・窓口を一元化した明確な責任体制や協議体制を評価した。</li> </ul>                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な実績に基づく実効性の高い事業実施体制を評価した。</li> </ul>                                                                                  |
|     | (2) 周辺環境との調和に留意した親しまれる施設 | ① 景観及びデザイン   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺環境との調和や圧迫感の低減を考慮した施設デザインを高く評価した。</li> </ul>                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の環境条件を考慮した施設デザインや植栽計画を評価した。</li> </ul>                                                                                |

| 大項目 | 中項目                                  | 小項目                 | 講評                                                                       |                                                          |
|-----|--------------------------------------|---------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
|     |                                      |                     | 八海山グループ                                                                  | 巻機山グループ                                                  |
|     | (3) 災害に強い施設                          | ① 施設の強靱化            | ・運用面を考慮した浸水対策など、施設の強靱化に向けた実効性の高い取組を高く評価した。                               | ・実績に基づいた災害対策など、施設の強靱化に向けた具体的な取組を評価した。                    |
|     |                                      | ② 災害発生時の廃棄物処理       | ・災害時の迅速な復旧に向けた具体的な取組を評価した。<br>・現施設跡地を活用した具体的な災害廃棄物の受入動線の取組を評価した。         | ・災害時の迅速な復旧に向けた具体的な取組を評価した。<br>・災害廃棄物の受入対応に係る具体的な取組を評価した。 |
|     | (4) 公害防止に配慮した施設                      | ① 公害防止基準を満足するための取組み | ・公害防止基準を満足するための、実績に基づいた実効性の高いシステムを評価した。<br>・周辺住民や来場者に配慮した臭気対策の取組を高く評価した。 | ・公害防止基準を満足するための、実績に基づいた実効性の高いシステムを評価した。                  |
|     |                                      | ② 焼却残渣量の最小化         | ・豊富な実績に基づく具体的な長寿命化対策を評価した。<br>・現施設の跡地利用方法に係る具体的で実効性の高い提案を評価した。           | ・豊富な実績に基づく具体的な長寿命化対策を評価した。                               |
|     | (5) 省力化・効率化に努め、経済的な施設                | ① 基本性能の維持及び長寿命化     | ・豊富な実績に基づく具体的な長寿命化対策を評価した。<br>・現施設の跡地利用方法に係る具体的で実効性の高い提案を評価した。           | ・豊富な実績に基づく具体的な長寿命化対策を評価した。                               |
|     |                                      | ② 焼却残渣量の最小化         | ・実績に基づく焼却残渣量削減のための取組を評価した。                                               | ・先進技術等の導入による焼却残渣量削減のための創意工夫を高く評価した。                      |
|     | (6) 省エネルギー・エネルギー回収効率が高く、低炭素社会に貢献する施設 | ① 省エネルギーへの配慮        | ・消費電力低減のための創意工夫を評価した。                                                    | ・消費電力量低減のための積極的な創意工夫を高く評価した。                             |
|     |                                      | ② 発電電力の最大化          | ・落札者決定基準に示す算定式により、20年間の余剰電力量の定量評価を行った。                                   | ・落札者決定基準に示す算定式により、20年間の余剰電力量の定量評価を行った。                   |
|     |                                      | ③ 環境学習計画及び見学者対応     | ・体験型学習展示などによる環境学習プログラムの創意工夫を高く評価した。                                      | ・地域特性を踏まえたコンセプトによる環境学習計画の提案を評価した。                        |
|     | 2 事業計画に関する事項                         |                     |                                                                          |                                                          |
|     | (1) 経営計画及び事業収支計画                     |                     | ・事業期間にわたる安定した収支計画を実現するための具体的な提案を評価した。                                    | ・事業期間にわたる安定した収支計画を実現するための具体的な提案を評価した。                    |
|     | (2) リスク管理及び対処方法                      |                     | ・豊富な実績に基づくリスク管理の具体的な方策、充実したセルフモニタリング体制を評価した。                             | ・豊富な実績に基づくリスク管理の具体的な方策、充実したセルフモニタリング体制を評価した。             |
|     | (3) 地域貢献                             |                     | ・事業期間を通じた地域貢献の具体的な提案を高く評価した。                                             | ・事業期間を通じた地域貢献の具体的な提案を評価した。                               |

(4) 入札価格の定量化審査

提案書の定量化審査終了後、市は、入札参加者の立会いのもとで令和 8 年 6 月 23 日に開札を行い、入札参加者の入札金額が予定価格の範囲内であることを確認した。

委員会は、開札結果の報告を受け、入札価格の定量化審査として入札金額の得点化を行った。得点化の結果は、表 8 のとおりである。

表 8 入札価格の定量化審査結果

| 受付グループ名 | 配点 | 入札価格（税抜）         | 入札価格の定量化審査の得点 |
|---------|----|------------------|---------------|
| 八海山グループ | 40 | 27,500,000,000 円 | 38.60 点       |
| 巻機山グループ |    | 26,536,500,000 円 | 40.00 点       |

(5) 総合評価値の算出

「提案書の定量化審査の得点」、「入札価格の定量化審査の得点」を加算して、表 9 のとおり総合評価値を算出した。

表 9 総合評価値の算出結果

| 受付グループ名 | 提案書の定量化審査の得点<br>(A) | 入札価格の定量化審査の得点<br>(B) | 総合評価値<br>(A) + (B) |
|---------|---------------------|----------------------|--------------------|
| 八海山グループ | 41.95 点             | 38.60 点              | 80.55 点            |
| 巻機山グループ | 40.11 点             | 40.00 点              | 80.11 点            |

(6) 最優秀提案者の選定

委員会は、上記の結果に基づき、八海山グループ（企業グループ名：カナデビアグループ）を最優秀提案者として選定した。

## 第4章 総評

本事業は、施設の設計・建設及び運營業務を一括して発注する DBO 方式を採用しており、民間事業者の創意工夫による提案を取り入れた合理的な設計・建設業務と、効率的かつ効果的な運營業務を期待するものである。

総合評価一般競争入札による公告に対して、提案書を提出したカナデビアグループ（受付グループ名：八海山グループ）と荏原環境プラントグループ（受付グループ名：巻機山グループ）は、どちらも国内のごみ焼却施設における豊富な整備・運営実績を有しており、本事業の目的や各業務の内容において、市が要求する水準と同等、もしくは上回るものであった。

両グループともに、豊富な実績に基づいた優れた提案内容であり、特に市が強く求める「施設の安定稼働」及び「施設の安全性」について、AI・IoT を活用した先進技術や遠隔監視システムの導入など、具体的で実効性の高い提案を頂いたことに深く感謝するものである。

委員会では落札者決定基準に基づき、両グループの提案内容について厳正かつ公正に審査を行った。

提案書の定量化審査においては、カナデビアグループは特に、地域特性を考慮した具体的で実効性の高い「全体工事計画」、運用面を考慮した十分な浸水対策等による「施設の強靱化」、積極的な地元企業への発注及び地元雇用による「地域貢献」等の審査項目において高く評価した。

一方、荏原環境プラントグループは特に、「省エネルギーへの配慮」「発電電力量の最大化」等の審査項目において高く評価した。

これらを踏まえ総合評価値を算定し、最高点を取得したカナデビアグループを最優秀提案者として選定するに至った。

委員会は、カナデビアグループに対し、次に示す配慮・要望事項への留意及びより一層の事業の充実を要望する。

- ① 要求水準書及び提案書の内容を確実かつ誠実に履行し、事業期間を通じて安定したごみ処理を継続すること。
- ② 冬季の積雪などの地域特性を十分考慮し、市の提示する建設工期を確実に遵守すること。
- ③ 来場者の安全性に十分配慮し、車両動線及びプラットホーム内における安全対策のさらなる向上に努めること。
- ④ 発電効率や余熱利用について、さらなる創意工夫等により、より一層のエネルギー回収及び利活用に努めること。
- ⑤ 見学者動線や見学スペース、環境学習プログラム等について市と十分協議し、より効果的な環境学習ができる施設となるよう努めること。
- ⑥ 地域住民の理解と安全・安心が確保できるよう、施設の安定稼働に向けた適切な運転管理及び人員配置を確実に行うとともに、地域住民に対する積極的な情報提供及び良好な関係の構築に努めること。
- ⑦ 地域貢献について、さらなる地元企業の活用、地元雇用及び人材育成等に努めること。
- ⑧ 市が実施する現施設の解体工事及び跡地利用に最大限協力すること。

最後に、市とカナデビアグループは、当該事業の良きパートナーとして、地域との信頼関係を築き、本事業を適正かつ適切に推進することを望むものである。

令和 8 年 7 月

新ごみ処理施設事業者選定委員会  
委員長 南雲 貢